
平成17年 第1回定例会(3月)

行 政 報 告

富士見市長 浦 野 清

- 1 上福岡市・大井町の合併における新市名称「ふじみ野」について

1 上福岡市・大井町の合併における新市名称「ふじみ野」について

上福岡市・大井町の合併における、新市名称「ふじみ野市」を巡る富士見市としての一連の取り組み経過と今後の考え方についてご報告いたします。

はじめに、本年1月5日、上福岡市・大井町法定合併協議会の新市名称候補選定検討委員会が、新市名称候補として「ふじみ野市」、「栄市」、「大福市」の3点を選定し、1月12日開催予定の同協議会第4回会議で最終的に決定することを確認いたしました。

これを受けて、1月7日、本市では当「富士見市」と隣接して「ふじみ野市」が誕生した場合、①当市民だけでなく新市の市民もその紛らわしさから、日常生活に混乱を招きかねないこと。②「ふじみ野市」は、一昨年の2市2町の枠組みでの合併を想定した新市名称公募の結果であったこと。③ふじみ野駅が富士見市にあること等により、新市名称の選考にあたっては万一のことがないよう、同合併協議会長、上福岡市長、大井町長に申し入れを行いました。

しかしながら、本市の申し入れを何ら受入れることなく、1月12日には同協議会第4回会議において新市名『ふじみ野市』を決定いたしました。

この決定を受け、翌1月13日、上福岡市・大井町法定合併協議会における新市名称の撤回、再考を求める申し入れを1月18日までの回答期限として、同合併協議会長、上福岡市長、大井町長に行いましたが、回答内容は「ふじみ野市」変更を拒否するものでありました。

こうしたことから、1月19日、新市名を「ふじみ野市」としないよう両市町の議員44名、合併協議会委員10名に対して、要望及び富士見市の主張に関する質問を行いました。

結果として、一部の議員からは富士見市の主張を理解する旨の回答を得ましたが、与党議員からは連名により公募結果の民意の反映と合併協議会の決定を

尊重する旨の回答でありました。

以上が、両市町の関係者に対する富士見市からの申し入れ内容と先方の回答であります。

一方で、1月19日には埼玉県の総合政策部長に対して、これまでの経過を報告するとともに、県としても何らかの対応をとっていただくようお願いをしてまいりました。

しかしながら、こうした富士見市の主張に対して上福岡市、大井町は何ら協議する姿勢もなく、また県においても何の調整もしないまま、1月26日、埼玉県知事立会いの下に両市町長による合併協定調印式が行われ、今月7日には両市町の臨時議会において合併の議決がなされました。

この間、新市名を「ふじみ野市」としたことに関して、富士見市民はもとより、市外の方々からも毎日たくさんの怒りの声や私に対する激励が手紙、ファックス、メールなどにより多数寄せられ、現在に至りましても毎日届いております。

私は、これまでの約1ヶ月半、この新市名について両市町長に再考するよう求めるとともに、機会あるごとに直接抗議も行ってまいりました。

今改めて、これまでの一連の経過を振り返り思うことは、富士見市の主張には一貫性があり、お寄せいただいた市民の皆さんの考え方と一致しているということでもあります。

一方で、上福岡市、大井町の主張は「法的に問題ない」ということと「市民応募尊重」のみで決定したことで、新市名を「ふじみ野市」とする道理がないということでもあります。

そして、今回のように合併に関する新市名称に関して自治体間に紛争が生じた場合、本来調整役となるべき県が「双方で話し合っしてほしい」と表明したのみで一切関与しなかったことも大きな問題であると考えられます。

両市町の合併については、既にそれぞれの議会において議決されておりますので、このまま進みますと本年10月1日には「ふじみ野市」が誕生することになります。

しかし、富士見市民の怒りは大変強く、行政上また市民生活上の混乱の可能性も同様に高まってきております。

いつの時代にあっても、自治体において合併は最重要事態であって、当該自治体首長、議員などそれぞれのリーダーがいかなる姿勢で臨んでいたか、またどのような行動をとったか、まさに歴史に残ることでもあります。反対にこのたびの富士見市の立場においても同様のことが言えると思っております。

私は富士見市長として、この新市名に関して重ねて再考を求めてまいりましたが、全く受け入れられず誠に遺憾に思っております。こうした事態に陥ってしまったのは、一つには名称をめぐる問題や法手続きが整備されていないことが大きな原因と考えております。それ以外にも、長年、入間東部地域の2市2町として信頼関係を築きながらともに歩んできた上福岡市、大井町がなんら話し合いの姿勢すら持たず、混乱解決のための行為を行わなかったことも極めて重大な責任があると思っております。

私は、市長として市民の皆さんに対して説明責任がありますので、これまでの経過と富士見市の主張を市のホームページに掲載し、広く訴えてまいりました。

今後におきましては、新市名「ふじみ野」に対する多くの富士見市民の思いを大切にし道理を貫くべく、国において法手続き上、市町村の名称をめぐる関係自治体間の主張を調整する仕組みを早急に具体化していただくよう県市長会を通じて国に働きかけてまいります。

併せて、富士見市長として、本市の地名として当然に「ふじみ野」を使用する意志を明らかにしてまいります。また、ふじみ野地域の一層の整備を進める

とともに、新市の名称問題及び今後の諸問題に関しましても、法的措置も含め可能な対応を追究してまいりたいと考えております。

今後、富士見市、新市の両市民が多くの混乱と不利益を被ることが予想されますので、市民生活に責任を持つ自治体同士として早急に話し合いができるよう努力してまいる所存でありますので、議員各位の特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。